

「UCLG・ASPAC コングレス」 今年は、日本で初開催です。

去る6月28日、「UCLG・ASPAC」の平成22年度執行理事会がシンガポールにおいて開催され、会員である浜松市の鈴木市長が出席し、今年10月に浜松市で開催される「UCLG・ASPAC コングレス2010」のPRを行いました。

「UCLG・ASPAC」とは

「UCLG・ASPAC」とは、都市・地方自治体連合（UCLG）のアジア・太平洋支部（ASPAC）を意味し、日本では浜松市が唯一の地方自治体会員であり、クレアは国際組織会員として参加しています。コングレスは、10月に開催するもので3回目となりますが、日本では初めての開催となります（第1回：2003年@韓国テグ市、第2回：2008年@タイ・パタヤ市）。コングレスでは、アジア太平洋地域の19カ国から約125の地方自治体や地方自治関係団体などが一堂に会し、講演やパネルディスカッションを通じて地方自治体が抱える共通の課題等について話し合いや情報交換が行われます。

10月のコングレスは浜松市で開催

浜松市で行われるコングレスでは、「グローバル化への対応」をメインテーマとして、「多文化共生」、「気候変動」、「地域資源を活用した観光振興」、「経済分野における都市間連携」について分科会で議論される予定です。また、浜松市の、産業、観光、環境、歴史、文化の名所を視察するスタディツアーや、参加者が日本文化を体験できるプログラムなども用意されているほか、会場内には国内外の自治体や団体用のPRブースも設置されます。

自治体からのご参加をお待ちしています

このような会議は、国際組織の場において日本の自治体をPRする絶好のチャンスであるとともに、そうした場での自治体の活動をより活性化することで、国境を超えた都市間連携を促進する貴重な機会でもあることから、クレアでは、当会議の開催や日本の自治体の参加を支援しています。

詳細は、コングレス公式サイトで確認いただけますので、ご関心のある方は是非ご覧ください。

【問い合わせ先等】

クレア企画調査課 TEL：03-5213-1722

浜松市国際課 TEL：053-457-2359

コングレスHP：<http://www.uclg-aspac2010.org/jpn/index.html>